



1.実施概要

- 開催日 : 2025年11月18日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 20時30分
- 開催場所 : 2階会議室
- 実施者 : 株式会社アスア 宮田 雅史
- 参加状況 : 15名/16名 (参加率: 93.8% : 別紙参加者リスト参照)
- 法定12項目 :
- 教育区分 : 安全 環境 労務 その他 ()

2.目標と進捗

■ 目標

- ① ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)
- ② 走行管理表の記入・提出100%
- ③ 安全教育の仕組みづくり

■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)	<p>【出席率】 11月度MTG出席率: 15/16人 欠席者: 金子氏</p> <p>【対応方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング周知ポスターの提示と声掛けと時間割の活用 ・ミーティング当日の参加状況と管理 ・ミーティング欠席者フォロー実施 →横急運輸のミーティング日に参加、参加出来ない場合自社フォロー
	課題	・参加状況の整理 (声掛けや周知) ・欠席者フォローアップの構築	
②	目標	走行管理表の記入・提出100%	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年4月度より走行管理表の記入開始 ・車両担当者の設定 (車番ごとに車両担当責任者を決定) ⇒出席リストに記載 【2025年10月度記入率】提出率: 100% ・燃費記入: 100%、月間燃費: 100% ・目標燃費: 93.8%、コメント: 100%
	課題	・走行管理表の記入・提出率100% ・運用ルールの構築	
③	目標	安全教育の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が意欲的にミーティングに参加できる環境を構築する →ミーティングへの参加の呼びかけや目的の共有 ・乗務員ミーティング内でのコメントを管理者ミーティングにて共有 →優先順位付けやフィードバック方法などを確立していく
	課題	・ミーティング出席率 ・ボトムアップとフィードバック	

3.乗務員ミーティング

■ 議題テーマ：「反応速度実験」

- ①走行管理表の記入状況
- ②燃費推移確認
- ③事故推移・事故共有
- ④前回の復習（道路交通法・勘違いしやすい道路交通法・違反と事故の関係）
- ⑤今回のポイント（反応速度実験・車間距離）
- ⑥法定教育項目⑪安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法

■ 今回のポイント

- ・ブレーキが必要と判断した時点から、ブレーキペダルを踏み込んで、ブレーキが効き始める時点までの反応時間は平均0.75秒で、時速60km/hで走行している場合、ブレーキが効き始めるまでに12.5mも進む
- ・疲労や考え事などでも反応速度は遅くなるため、全体の速度を落とし走行することが必要

反応速度と運転の関係

ブレーキが必要と判断した時点から、ブレーキペダルを踏み込んで、ブレーキが効き始める時点までの**反応時間**（空走時間）の平均は**0.75秒**とされています。

時速60km/hで走行している場合、0.75秒で12.5mも進んでいます。



項目13 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法

アダプティブ・クルーズ・コントロール/ACC (走行中車間距離制御装置)

【性】 レーダーで前方の車両を検知し、運転者がせひした車速を維持することにて、自動車よりも高い先行車からの衝突回避には、先行車との車間距離を適正に維持して走行を行います。

【注意事項】 運転操作が弱減されることで、先行車との車間距離が維持される安心感から、運転や装置を過度に前方不注意となり、事故の要因となる場合があります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより一定速度で走行 視界や居眠り運転に注意!

参考：「自動車運転者及び乗車者による車両の運転と車間距離の適正化に関する実験」(平成22年1月)より

みんなで話し合ってみましょう！

- 普段運転するバスなどのような運転支援装置がついていますか？
- 運転支援装置の性能、作動した場合の対処方法はご存じですか？

まとめ

**前方
居眠り
車間距離**

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・考え方などを聞いていても、反応速度はだいぶ落ちると思うのでなるべく運転に集中できる状態を保つ。
- ・以前のバス会社は携帯電話の使用には厳しく、運行前に個人の携帯電話は会社に置いていくルールだった。
- ・交差点では歩行者信号などを確認し点滅などしたら、アクセルオフしているが速度と場所によってはアクセルを踏んでしまうことがある。
- ・乗客が運転中話しかけてくることもあるので、その際は一瞬注意力が後ろの方に行く時がある。
- ・この時期、夕方歩行者などが見えづらいので夕方は速度を落として走行している。

【法定12項目について】

- ・オートクルーズを自分は活用している。一定速度に保ってくれ車間距離なども自動で調整してくれる。
- ・衝突被害軽減ブレーキがついている車両があるが、実際に作動したことは無い。

■ 所見

今回は反応速度実験装置を活用し反応速度実験を行いました。運転中ブレーキが必要と判断した時点からブレーキペダルを踏み込んで、ブレーキが効き始める時点までの反応時間は平均0.75秒であり、時速60km/hで走行している場合ブレーキが効き始めるまでに12.5mも進みます。疲労や考え事などでも反応速度は遅くなるため、全体の速度を落とし車間距離を確保し走行して欲しい旨お伝えさせていただきました。

4.管理者ミーティング

- 開催日 : 2025年11月18日(火) 2025年11月18日(火)
- 開催時間 : 14時10分 ~ 14時40分 17時00分 ~ 17時20分
- 参加者 長谷川社長、藤巻部長、野村氏、岩本氏、片桐氏
- 欠席者
- 議題 テーマ「反応速度実験」
 - ①ミーティング出席 欠席者フォローについて
 - ②走行管理表の状況
 - ③燃費推移
 - ④事故推移
 - ⑤DR映像について
 - ⑥今月の強化項目の設定

■ 議事録

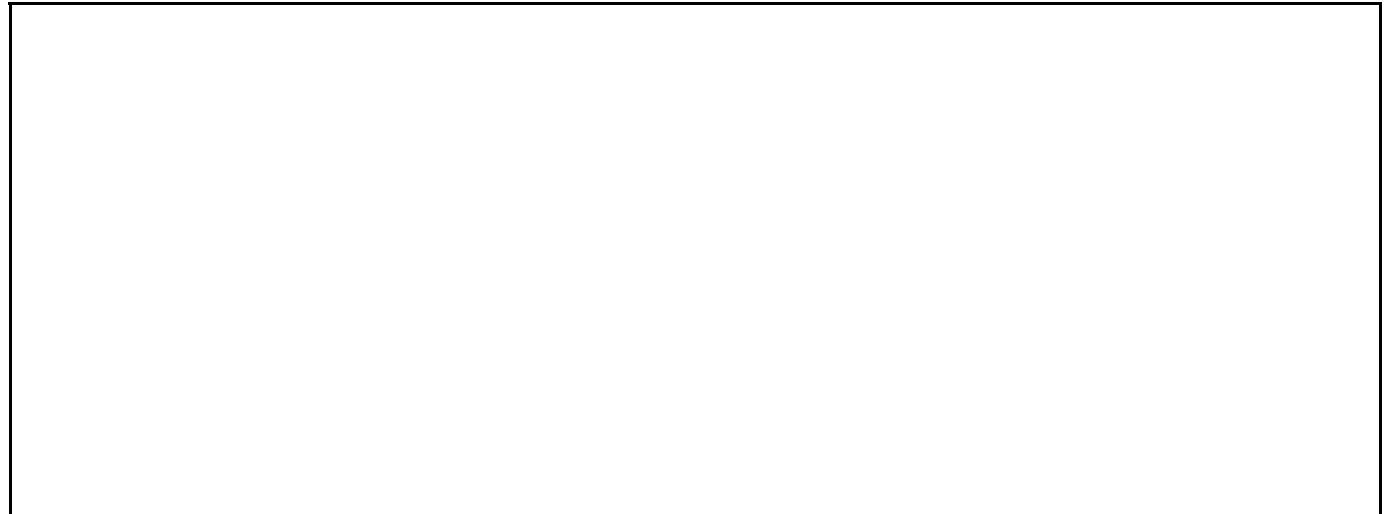
No.	議題	内容
①	ミーティング出席 欠席者フォローについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング出席：15人/16人（93.8%） ※別紙、出席リストを参照ください ・欠席者フォロー：金子氏
②	走行管理表の状況	<p>【2025年10月度記入率】提出率：100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃費記入：100%、月間燃費：100% ・目標燃費：93.8%、コメント：100% <p>⇒目標燃費はMTG内で次月の目標をドライバーと設定する</p>
③	燃費推移	<ul style="list-style-type: none"> ・全体燃費：3.94km/ℓ ※異常燃費無し ・各車両の走行管理表記入状況を配布
④	事故推移	<ul style="list-style-type: none"> ・活動1年目（2025.3～ミーティング現在）事故総数4件 ・車両事故6件、その他事故0件 ※昨年同月対比2件減少 ・10月度：事故無し、11月度：事故無し（ミーティング時点） ・映像を基に原因と対策の共有実施
⑤	DR映像について	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ミーティング内にて、DR映像を活用する（担当：野村さん） ・良い運転と不安全運転
⑥	今月の強化項目の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、強化項目を設定し点呼時、定期的に確認を実施する 11月度強化項目：後退事故ゼロ 具体的行動：少しでも不安な場合は降りて確認（不安を残して後退しない） <p>⇒自動点呼に組み込み 岩本さん担当</p>

■ 所見

現在無事故が続いておりますが、事故対策として過去の事故の特徴などをもとに月間強化項目の運用と日々の点呼時での活用をして行きましょう。また、普段の良い運転や不安全な運転をミーティングで共有することで注意喚起やより安全運転を目指して取り組んでいきたいと考えておりますので宜しくお願ひいたします。

5.その他

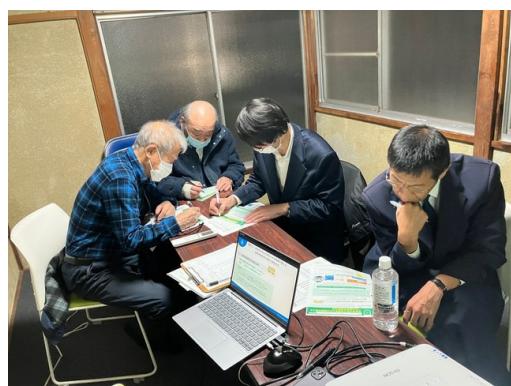
■ 連絡事項



■ 配布資料

- ① キックオフミーティング議事録（本紙）
- ② ミーティングスライド
- ③ ミーティング参加者一覧
- ④ 走行管理表（2026年1月分）
- ⑤ 事故集計表
- ⑥ 法定教育項目⑪安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法（穴埋め・解答）

■ 実施状況写真



■ 次回ミーティング日時

- ・乗務員ミーティング 2025年12月16日(火)
15時00分～
- ・管理者ミーティング 2025年12月16日(火)
14時00分～

～今月もお疲れさまでした。次回もよろしくお願いします～